

本籍地	静岡縣佐野郡倉真村	姓名	一木喜徳郎
族籍	静岡縣平民	生年月日	慶應三年丁卯四月四日
年	月	日	履
明治五年七月十日			東京大學豫備門入
十六年七月十日			全科卒業ノ證ヲ授ク
			東京大學文学部入
十七年九月十日			一、年間褒賞給費金一ヶ月七圓附共
十八年十月十日			九月十日より一、年間褒賞給費金一ヶ月七圓
			附典
十九年三月一日			慶應義塾大學置帝國大學子
			同
			上
			東京大學
			東京大學豫備門
			歴

甲

廿七年	一月卅一日	沖繩縣出張ヲ命ス	内務省
	十一月十日	官制改正	
	十月廿五日	事務格別勸励労效不勤依テ全三賞典	内
	七月四日	京都府大坂府滋賀縣出張ヲ命ス	内務省
	四月十一日	叙従七位	
	三月廿四日	縣治局勤務ヲ命ス	全
	三月廿七日	郡區長試験委員ヲ命ス	全
	三月十三日	縣治局勤務ヲ命ス	全
		大臣官房文書課勤務ヲ命ス	全
		八位俸下賜	内務省
		叙高等官七等	
廿六年	二月八日	復職ヲ命ス	内務省
廿五年	十二月廿日	廢高等官俸給令及官職等級表	
廿四年	八月十六日	廢官等俸給令	樞密院
		自費ヲ以テ三ヶ年間獨逸國留學致度	内閣
	四月四日	旨領出内務大臣請談ニ依リ認可ス	
	三月廿八日	非職ヲ命ス	内
	二月十三日	臨時諸規則取調委員ヲ命ス	内
		郡區長試験委員ヲ命ス	内
		總務局文書課勤務ヲ命ス	内
		叙奏任官五等	内務省
		上级俸下賜	
廿三年	一月廿四日	任内務書記官	
	七月九日	警保司兼勤ヲ免ス	内
廿二年	四月十五日	宮城縣出張ヲ命ス	内
		總務局兼警保局勤務ヲ命ス	内

卅一年五月十日	免兼官	内閣
三月廿一日	陞叙高等官五等 (兼官)	
三月廿三日	叙從六位	
十一月八日	文官高等試験臨時委員被免	内閣
十一月三日	下賜	
十一月三日	文官高等試験臨時委員手當金十分	
十一月五日	陞叙高等官五等 (本官)	
九月十四日	中学校、関之臨時取調委員ヲ免ス	文部省
七月五日	文官高等試験臨時委員被仰付	内閣
四月廿三日	中学校、関之臨時取調委員ヲ命ス	内閣
三月廿六日	本俸四級俸下賜	文部省
三月八日	文官高等試験臨時委員手當金十分下賜	内閣
廿九年七月二日	文官高等試験臨時委員被仰付	内閣
十二月廿九日	叙正七位	樞密院
十一月廿九日	文官高等試験臨時委員被免	内閣
十月廿九日	陞叙高等官六等 (兼官)	
十月十八日	陞叙高等官六等 (本官)	
廿八年六月廿二日	文官高等試験臨時委員被仰付	内閣
	行政法講座分擔ヲ命ス	内閣
	憲法國法第一講座擔任ヲ命ス	内閣
	本俸五級俸下賜	文部省
	縣治局勤務ヲ命ス	内務省
	叙高等官七等	
	兼任内務書記官	
	叙高等官七等	
	任法科大学教授	

	十月二十日	内務省事務事務政府委員被仰付	内
	十月廿五日	高等官四等 (水官) 下賜	内
	十月廿九日	文官高等試験臨時委員被免	内務省
	十一月三日	職務格別勸励金六百円賞與	内務省
三十三年	一月廿六日	警察監獄學校高裁委員ヲ命ス	内
	三月廿八日	千葉縣ハ出張ヲ命ス	内
	五月廿日	廣參與官	
		兼任内務省參事官	
		和高等官二等	
	六月八日	文官高等試験臨時委員被仰付	内閣
	六月二十日	法典調査會委員手當金三百円下賜	内
	九月十八日	同上	内
	九月廿六日	貴族院令第一條第四項ニ依リ貴族院裁員ニ任ス	内
履歷用紙			樞密院
卅三年	十月三日	依領免兼官	内閣
	十月七日	帝室制度調査會御用掛被仰付	宮内省
	十月九日	文官高等試験臨時委員被免	内閣
	十月三十日	東京帝國大學評議員ヲ命ス	文部省
	十一月廿日	法典調査會委員被仰付	内閣
卅四年	三月十八日	法典調査會委員手當金三百円下賜	内
	四月十日	憲法調査會第一講座擔任ヲ免シ更ニ行政法第一講座擔任及憲法圖法學第一講座兼任ヲ命ス	文部省
	六月十八日	法典調査會委員手當金貳百円下賜	内閣
	六月廿三日	文官高等試験臨時委員被仰付	内
	九月十八日	法典調査會委員手當金貳百円下賜	内
	十月一日	國法學講座兼任ヲ命ス	文部省
	十月九日	水俣四級俸下賜	内

乙

	十月廿六日	大官高等試験臨時委員被免	内
	十月九日	法典三編ニル政府委員被仰付	内
	十月十日	陞叙高等官三等 大学教授	
	十月廿六日	学術上取調ノ為静岡愛知ニ縣下ニ出張ノ命ス	大
卅五年	三月廿日	法典調査會委員被免	内
	五月十五日	兼任農商務省参事官	
		叙高等官二等	
	六月十三日	大官高等試験臨時委員被仰付	内
	六月廿日	農商務省大官普通選考委員ヲ命ス	農商務省
		特許代理業者試験委員長ヲ命ス	内
	九月廿日	任法制局長官兼内閣恩給局長	
		叙高等官一等	
		兼任東京帝國大学法科大学教授	
		履歷用紙	樞密院
		叙高等官三等	
	九月廿九日	大官高等試験委員長被仰付	内
		政務調査委員被仰付	内
		鑛務調査委員長被仰付	内
	十月二日	大官高等試験臨時委員被免	内
	十月七日	依願東京帝國大学評議員ヲ免ス	文部省
	十月廿日	叙從四位	
	十月八日	大官高等試験委員被仰付	内
	十月十四日	御用有之榜本縣下ニ出張ヲ命ス	内
	十月廿一日	大官高等試験委員長手當金五百三十円下賜	内
	三月八日	政府委員被仰付	内
	五月十一日	政府委員被仰付	内
卅六年	五月廿一日	叙勳四等授瑞寶章	

五月廿一日	法律取調委員被仰付	内閣
五月卅一日	廢臨時馬制調查委員會官制	
十月廿四日	帝國學院規程第二條依勅旨以帝國 學士院會負被仰付	内閣
四十年二月十日	廢帝室制度調查局	内省
	同局殘務取扱被仰付	内省
五月廿一日	法律取調委員被仰付	内閣
四十年一月廿三日	帝室制度調查局殘務取扱被免	宮内省
七月三十日	任内務次官	
	叙高等官一等	
七月廿二日	神職高等試驗委員長ヲ命ス	内務省
	神職尋常試驗委員長ヲ命ス	内務省
七月廿七日	港灣調查會委員被仰付	内閣
履歷用紙		
七月廿六日	日本博覽會評議員被仰付	内閣
八月四日	文官高等懲戒委員被仰付	内閣
八月六日	東京市改正委員長被仰付	内閣
九月十六日	東洋拓殖株式會社設立委員被仰付	内閣
九月	行政第一講座 <small>屬スル</small> 職務擔任ヲ解ク	文部省
九月廿六日	教科用圖書調查委員會委員被仰付	内閣
九月廿八日	主査委員ヲ命ス	文部省
	第一部負ヲ命ス	内閣
十月十三日	條約改正準備委員會委員被仰付	内閣
十月十四日	宮城縣出張ヲ命ス	内務省
十月廿三日	鐵道會議議委員被仰付	内閣
	内務省所管事務政府委員被仰付	内閣
四十二年一月十四日	東洋拓殖株式會社設立委員被免	内閣

乙

七年	四月十日	宗秩寮審議官被仰付	宮内省
八年	五月廿三日	臨時教育會議官制廢止	
	同日	臨時教育委員會議長被仰付	内閣
	五月廿三日	臨時教育會議主査委員長ノ職ヲ奉シ盡	
		力數カラス依テ金杯一組ヲ賜フ	賞勲局
	七月九日	法律取調委員會議規則廢止	
	同日	臨時法律審議會委員被仰付	内閣
	九月廿九日	法律取調委員ノ職ヲ奉シ盡カラス依テ	
		金杯一箱ヲ賜フ	賞勲局
九年	一月三十日	牧正三位	
	七月廿七日	教科用圖書調査委員會議主査委員ノ職ヲ	
		奉シ盡カラス依テ銀杯一組ヲ賜フ	賞勲局
	八月十日	改高等官官等俸給令 八月分以降	
		年俸六千五百圓	
履歴用紙			樞密院
九年	九月七日	對獨平和條約締結並ニ大正四年乃至	
		九年事件ノ功ニ依テ金杯一組ヲ賜フ	賞勲局
	九月廿日	東京市庶政正ノ職ヲ盡カラス依テ銀杯一	
		組ヲ賜フ	内閣
十年	九月七日	除服出仕被仰付	内閣
	十月七日	定宗秩寮審議會官制	
		宗秩寮審議官被仰付	宮内省
十年	二月十一日	宮内省御用掛被仰付	口
	三月廿三日	明治神宮造營ニ関シ盡カラス依テ	
		金杯一箇ヲ賜フ	賞勲局
十二年	八月六日	依願臨時法制審議會委員被免	内閣
十二年	一月十日	任樞密院副議長	
	一月十四日	宗秩寮審議官消滅	

